



焼津ロータリークラブ会報

会長テーマ「知行合一」

会長 杉本 昭

会長エレクト 大石 博之

例会日/毎週木曜日12:30～13:30

幹事 村田 昌弘

副幹事 芳村 正樹

例会場/ホテルアンピア松風閣

事務所/静岡県焼津市三ヶ名1671番地 ヤマキンビル302号室

第2906回例会(第19回) 例会(ロータリー財団委員会担当)

11月26日(木) 12:30～

司会 村田 昌弘 幹事

ソングリーダー 親睦活動委員会 中山 晃一 君

♪手に手つないで ♪四季の歌

ビジター 焼津南ロータリークラブ IM 実行委員長 中野 強一郎 君



会長挨拶

杉本 昭 会長

9月まで6回にわたり私の会長挨拶の時間を、会員増強維持をテーマにしたロータリー人口の実態紹介を皮切りに8月の総務省公表の人口動態調査結果を引用して日本の人口について安倍政権の政策に触れながら紹介してきましたが、新政権もスタートして2か月が経過し、5年に一度の国勢調査も行われたことからそろそろ潮時かとも思います。



さて、焼津市の新型コロナウイルス感染者が20人台に乗るなど感染拡大の第3波がいよいよ身近に迫ってきており、高齢者の感染者や家庭内感染が拡大するなど医療崩壊を心配する声が報道で再燃している今週ですが、今日は「輸血用血液が不足する…」というキーワードで考えてみます。リニア新幹線の開通を目指す2027年、その頃には団塊世代全てが75歳以上の「後期高齢者、になるのです。輝かしい未来なのか、老々介護の灰色の世界なのか。輸血用血液製剤の85%が50歳以上の患者に使われ、献血者の76%が50歳未満、特に10～30歳代の人々の献血に依存している実態。輸血の事故等への利用は数%に過ぎず、8割ががんや白血病等の病気の治療に使われているとのこと。政府は医学部の設置や定員増を進めて医師の確保に努めてきましたが、人口不足による看護師・薬剤師・医療や事務のスタッフ・救急隊員の不足等により、病院にたどり着けない、着いてもスタッフが居ない、輸血しようにも量が足りない、などということになりかねない。人と設備が必要、それらをどう確保するのか。

日本列島改造論によって開発ブームに沸いた日本も、人口が激減している現在では同改造論が目指したような「バランスの取れた発展」などありえない夢。国交省が「国土のグランドデザイン2050」で地域のサービスの需要規模を「存在確率80%」と「同50%」という形で試算しています。50%ではその人口規模を下回ると撤退もしくは廃業を余儀なくされる。

80%とされる人口規模ならば、ほぼ存在しうる。銀行の例でいえば9,500人の規模ならば存在しうるが6,500人になると撤退を始める。大学や映画館は175千人、有料老人ホームは125千人、訪問介護事業は27,500人を大きく下回ると立地が難しくなる。ハンバーガーショップも例外ではありません。人口減少・働き方改革で日本全体の労働時間が減る中でGDPを従来並みに維持しようとしたら、大幅な生産性向上が無ければ実現できません。今ならまだ上手な縮み方を準備する時間が残されているのではないかと。財団事業も含めて、私たちに何ができるのでしょうか。「日本の人口・その7」病院に行けば命が助かる？/街からマックが消える？ でした。

インターシティミーティングのご案内

焼津南ロータリークラブ IM 実行委員長

中野 強一郎 君

2021年3月13日(土)にここホテルアンピア松風閣にて、「困難な時こそロータリーの結束を」というテーマでインターシティミーティングを開催する予定です。当初300名を予定しておりましたが、150名ということで調整しております。焼津ロータリークラブからは23名の参加をお願いしたいと思います。講師は、SBS放送アナウンサーの小沼みのり様をお願いしました。皆様、どうぞ、ご協力、ご参加の方よろしくお願い致します。





幹事報告

村田 昌弘 幹事

・本日例会終了後、第6回理事会を開催しますので理事役員の方は出席をお願いします。



会員のお慶び

坂本 繁 君

本人誕生祝

大石 博之 君 S29. 11. 28
村松 直行 君 S42. 11. 28
原崎 宗典 君 S38. 12. 1

夫人誕生祝

村田 昌弘 君 (悦子様) 11. 27



出席報告

	会員数	出席数	出席率	11月12日 M-UP	確定 出席率
11月26日	54 (54)	35名	64.81%	1名	75.93%



メイクアップ

多々良 匡 君 (職業奉仕)



スマイル報告

久保田 好一 君

青島 直久 君

赤阪鐵工所さんの見学の写真と記事が静岡新聞に掲載されたので、スマイルさせていただきます。



卓話

卓話者 ロータリー財団委員会

奥川 将之 委員長

演題 「11月はロータリー財団月間」

ロータリー財団の事業内容について、奨学基金・平和フェロシップ事業、ポリオ・プラス事業、補助金を使った事業についての紹介とロータリーカードの入会の案内ということで卓話を頂きました。